ごあいさつ

本日は、私たち南アルプス桃源ウィンドアンサンブル第５回定期演奏会にご来場いただき、誠にありがとうございます。演奏会も今回で５回目を数えました。私たちの５という数字は年月の積み重ねであります。ここまで来るには、家族の皆さんのご理解、桃源文化振興協会の方々、賛助出演の方々に支えられての活動であることは言うに及びません。本日ひとつの節目を迎えられる事に感謝の気持ちで一杯です。

５と言う数字で今年一番思い出されるのは、やはり北京オリンピックではないでしょうか。オリンピックのシンボルである五輪のマークは、世界５大陸と５つの自然現象とスポーツの５大鉄則を５つの重なり合う輪で表現したものであるとする説が有力なのだそうです。４年に１度開催される、オリンピックに出場することの難しさは、きっと私たちの図り知ることのない世界だと思います。でもそれを乗り越えた、アスリート達の輝きは、多くの感動を与えてくれました。また競技後のインタビューの中で、支えてくれたコーチや家族に対するメッセージがとても印象的でした。

感動を与えてくれる物は、芸術・文化、スポーツなど数多くあると思います。今日の演奏会が、皆様のその中のひとつになれば幸いです。

音楽に、楽器に、すばらしい方々に出会えた感動が伝えられるよう演奏いたします。

まだ未熟な私たちですが、どうぞ最後までお付き合いくださいますようお願い申し上げます。

南アルプス桃源ウィンドアンサンブル
団長　大八木俊男

歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」

イギリスのウィンザーという町に滞在する貧乏な老騎士・ファルスタッフ。自惚れ屋の彼は、ある日、２人のお金持ちの夫人から惚れられていると勘違いします。そして２人の婦人に宛名だけ違う、まったく同じ内容のラブレターを送るのです。怒った婦人達はファルスッタフを懲らしめようと計画をたて…

歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」は、シェイクスピアの喜劇「ファルスタッフ」が原作となっています。本日演奏します「ウィンザーの陽気な女房たち」序曲は、この物語の幕開けとなる曲です。静かなイギリスの田舎町を思わせるようなゆったりとした美しい旋律から始まり、中間部からの陽気で明るい曲調はそこで繰り広げられる喜劇を思わせるようです。迫力のある演奏を、どうぞお楽しみください。